

リチウムイオンバッテリーを長期間ご使用していただくために

1) 充電量

リチウムイオンバッテリーは【満充電の時】と【放電し切った状態の時】に一番劣化が進みます。

つまり、**保管時は、30～50%程度の充電量**をお勧めします。

【満充電】と【放電し切った状態】の時間を極力少なくすることがポイントです。

普段は50%程度の充電量で保管し、**釣行前日の満充電**、をお勧めします。

※ 容量全てを使い切らないと分かっている場合、80%の充電量で釣行することも劣化対策に有効です。
(鉛バッテリーとは取り扱いが異なります。鉛バッテリーは満充電状態が一番劣化し難くなります)

※ 釣行が中止になった場合、「USBアダプター2A」を使うとUSB電源として電気を使うことができます。
スマートフォンの充電を1回行うだけでも劣化対策に有効です。

2) 保管場所 (保管温度は、0～20℃)

リチウムイオンバッテリーは内部の化学反応で電気の出し入れをします。劣化も同じ化学反応ですので
化学反応し難い **20℃以下の環境で保管** してください。

但し冷凍はNGです、内部で結露します。

真夏の自動車のダッシュボードは80℃位まで温度上昇しますので、車内保管は要注意です。

リチウムイオンバッテリー長持ちのコツ

①保管時の充電は 30～50%

②保管時の温度は 20℃以下